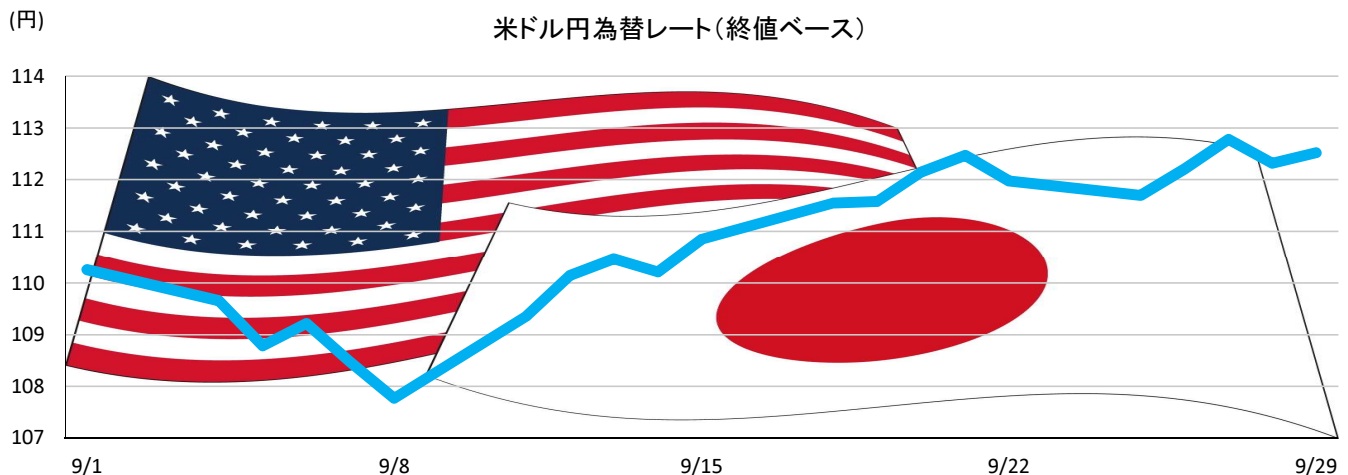


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 9月のドル円相場は、107円前半～113円前半で推移。月初は北朝鮮によるミサイル発射に伴う地政学リスクと米国を襲った巨大ハリケーンに伴う経済的リスクも相まってドル売りが進行していた。ただ注目をされた9日に北朝鮮が特別な行動をしてこなかったことから地政学リスクが後退し、ドル買いの流れに変化していった。月半ばのFOMCにおいて利上げは行われなかったものの、12月のFOMCにおいて利上げするとの見方からドル買いがさらに進むこととなった。さらに日本国内に目を向けると解散総選挙の流れが台頭してきたことも円安ドル高の流れを加速させていたともいえる。その後、28日に安倍首相が衆議院を解散したことから一気に選挙モードとなり、北朝鮮問題は推測のみではあまり材料視されなくなっていた。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 北朝鮮による核開発に伴う地政学リスクがあまり表だって報道されていないが、くすぶり続けているリスクであることは否めない。今のところ経済指標等に反応しているマーケットであるが、再度北朝鮮に関する大きな報道等があった場合のリスクも考えておいた方がいいだろう。また直接ドル円に反応するわけではないが、スペインにおいてカタルーニャ自治州の独立問題は欧州におけるリスクとして警戒しておかなければならない。いずれにせよ良好な経済指標に下支えられている市場において、地政学リスクがどの程度のウェイトを占めてくるかで大きな動きにつながってくるのではないだろうか。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
10 / 25 (水)	3 : 00	GB	英GDP速報値	☆☆☆☆
10 / 26 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
10 / 27 (金)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
10 / 31 (火)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
11 / 2 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
11 / 3 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
11 / 15 (水)	8 : 50	JP	日GDP確定値	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。